

第2期子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について

- 1 実施期間 令和2年1月17日(金)から令和2年1月31日(金)
 2 提出のあった件数 6件
 3 意見の概要と町の考え方
 ※意見のあった事項については、いただいた意見の趣旨を踏まえ、町が分類したものとなります。
 ※意見の概要については、いただいた意見を基に町が要約したものとなります。

	該当ページ	パブリックコメントのご意見	ご意見の反映	町の考え方
1	病児・病後児保育事業(P56)	病児・病後児保育事業について、どこに相談しているのか、どこの施設で対応しているのか、わからない。もっとわかりやすくしてほしい。	ご意見として頂戴いたします。	病後児保育事業は、町内3か所(阿見ひかり保育園、さくら保育園、阿見きらり保育園)で実施しております。病後児保育とは、病気や怪我の回復期であり、保育園などの集団生活には適していないが、保護者の仕事や病気・怪我・冠婚葬祭などやむを得ない理由により家庭で看護できない場合に一時的にお預かりし、保護者の子育てと就労を両立を支援する事業です。同事業のご利用にあたっては、町内3か所のそれぞれの保育施設へ事前にお問い合わせください。病後児保育事業の周知につきましては、町ホームページへの掲載、保育施設利用案内(冊子)や子育てハンドブックの配布、町内の各保育施設にチラシやポスターを配布等を行っておりますが、今後はさまざまな子育て支援サービスを円滑に利用することができるよう、掲載内容を整理して見やすく、かつ、わかりやすい情報提供を行って参ります。
2	産後ケア事業(P69)	産後ケア専門の施設があってもいいのではないかと。	ご意見として頂戴いたします。	町が実施している産後ケア事業は、産後に心身の不調や育児不安等があり、家族等から十分な家事・育児などの援助が受けられない方に対し、産科医療機関へ委託し、保健指導や育児支援を行っております。また、平成31年度に総合保健福祉会館さわやかセンター内に開設した「子育て世代包括支援センター」では、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行い妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施しております。
3	障害児保育事業(P72) 広報啓発活動(P73)	障害児のショートステイできる施設がない。障害児に関するサービス等の情報がわかりにくい。	ご意見として頂戴いたします。	障害児がご利用できるショートステイ施設は町内にはありませんが、町内の相談支援事業所によるサービス等利用計画を作成することにより、町外のショートステイ施設を利用することができるようになります。障害福祉サービスについては、町社会福祉課障害福祉係が所管しており、さまざまな相談業務や各種の手続きを行っております。また、各種の情報提供につきましては、町広報紙及び県、並びに町ホームページにも掲載しております。今後は、町ホームページにおいてわかりやすい情報提供に努めて参ります。
4	児童館事業(P67)	児童館をもっと充実させて欲しい。	ご意見として頂戴いたします。	児童館では、乳幼児と保護者を対象とした「育児サークル」や町内の小学生を対象とした「一輪車・ダンスクラブ」「体験教室」「地域交流会」等の各種活動や、二区児童館を拠点とした母親クラブ(登録制のボランティアグループ)も活動しており、例年多くの乳幼児・保護者及び小学生、並びに地域の皆さまにご参加頂いております。各種イベント以外の時間でも、両親や祖父母と一緒に、室内ではままごとやボールプール、庭では砂場や乗り物で遊んでいます。こうした児童館のご利用に関する情報は、毎月発行している「じどうかんしんぶん」に掲載しており、町ホームページへの掲載やメール配信サービス「あみメール」で周知すると共に、町内の大型ショッピングセンター等でも配布しております。また、各種イベント開催のPRポスター掲示も行っております。
5	情報提供事業(P82)	さまざまな子育て支援サービスがあるのに、サービスが十分に周知されていないのは、もったいない。ホームページや広報紙でも、どこに相談しているのか、どこの施設で対応しているのか、わからない。	ご意見として頂戴いたします。	町ホームページ・広報紙及び保育施設利用案内(冊子)や子育てハンドブックなどを活用して、見やすくわかりやすい情報の提供を行って参ります。
6	アンケート調査結果(P16)	近くに相談したり、子どもを預けたりできる人がいるという回答が半数近くあり、おおむね満足のようにみえるが、アンケートの回収率が約50%程度であるということから「おおむね満足」ととらえるのは問題があると思う。	ご意見として頂戴いたします。	子ども・子育て支援事業計画では、計画全体の評価指標として3つの指標項目を設定しており、その指標のひとつがご指摘いただきましたアンケートの質問項目「子育ての環境や支援への満足度」において「満足」又は「どちらかといえば満足」とご回答いただいた方の割合です。今回のアンケート調査の集計では、就学前児童で47.1%、小学生児童で42.3%という結果でした。この指標では、前回調査に比べて就学前児童で9.7ポイント、小学生児童で11.2ポイントの増加という結果となりました。一方で、もうひとつの指標であるアンケートの質問項目「子育てに関する不安感や負担感の解消」において「非常に不安や負担を感じる」または「なんとなく不安や負担を感じる」とご回答いただいた方の割合が、就学前児童で53.8%、小学生児童で48.3%という結果でした。この指標では、前回調査に比べて就学前児童で11.5ポイント、小学生児童で9.9ポイントの増加という結果となりました。町では、こうしたさまざまなアンケート結果などを参考としながら、第2期計画を策定して参りました。本計画は、子どもが阿見町で生まれてよかったと実感し、親もこのまちで子育てをしてよかったと実感できるように地域で支えるまちづくりを目指し、施策の実施とより一層の充実を目指すこととしております。